

一緒に考えませんか

まちの声 あれこれ

寄せられた声の中から、いくつか代表的なものを紹介します。あなたは、広報さっぽろについて、どのように感じていますか。

まちの声あれこれ
今回のテーマは、
32ページを
ご覧ください。

今回のテーマ

「広報さっぽろ」をもう少し簡素化してほしいが

市の広報誌は、少々立派過ぎるような気がします。もちろんさまざまな情報を手厚く提供することは重要ですが、ページ数が多く、配布する方が苦労しているとも聞きます。また最近ではカラーページも多いような。経費のことも考えると、今後、もう少し簡素化してもいいのでは。

※これは実際に寄せられた声を基に構成したものです。

テーマに対する皆さんの声



他市に比べ豪華過ぎ
環境保全の点からも簡素化を

これまで住んだことのある自治体の広報誌と比べ、豪華さに驚いています。これほどページ数が多く、カラーを多用した広報誌はなかったです。経費の削減や、省エネルギー・ごみ問題の観点からも、率先して簡素化することを望みます。

(白石区・匿名希望)



市民に親しまれるように
さらなる充実・工夫を

経費の面だけを考えて広報誌を簡略化することには、賛成しかねます。逆に、もっと内容を充実させ、誌面割り付けなども工夫して、魅力あるものにしてほしいです。広報誌は、市民と行政の接点としての大きな役割を果たしてきたし、今後はさらに意義が高まると思います。

(厚別区・下田利郎さん 55歳)



カラーで読みやすい
広報さっぽろの情報を活用

広報誌の情報を暮らしに活用しています。自分には必要のないお知らせも、誰かの役には立っているはずですので、情報量が多過ぎることはないでしょう。カラー化によりめりはりを付けることで読みやすくなっていますし、配布を担当したときも、苦労はありませんでしたので、今もまままで良いと思っています。

(白石区・田中一恵さん 35歳)



広報誌配布は大きな負担
希望者が手にするよう

広報さっぽろは経費がかさんでいると思いますし、配布する町内会の負担にもなっています。内容も回覧版での各種お知らせと重複しているものもありますので、広報さっぽろは区民センターや図書館に置いておくことで十分。大事なお知らせは、新聞に掲載すべきです。

(南区・蝦名良治さん 69歳)



情報は新しさが重要
ページが多いと読むのが大変

以前住んでいた市の広報誌は、週一回新聞への折り込みでした。新聞大で四ページ、黒一色で貧弱。ただ、毎週来るので、催しなどを忘れることがなく、時間をかけずに読めるのも良い点でした。広報さっぽろは冊子なので読むのに時間がかかりますし、無駄だと感じるカラーページもあります。

(厚別区・林朋代さん 36歳)



常にコスト(費用)意識を持って
視覚に訴える誌面づくりは重要

税金で作っているという意識は、常に持つべきだと思います。無駄を排除しスリム化で読みやすくという考えも分かります。しかし、ページ数が多いことやカラー化は、必要な情報を、必要に応じて視覚に訴え読んでもらうために、大変重要なことだと考えます。

(北区・前田修さん 44歳)



工夫でページ数を減らすなど
経費削減策を考へる

内容を簡素化するのは難しいと思いますが、写真を小さくして記事スペースを生み出すなどの工夫により、ページ数は減らせるでしょう。カラー化をやめるとともに、連絡所や区民センターなどに置き、希望者が読むようにすることで、経費を減らしては。配布されたすべての人が読んでいるとは思えませんから。

(中央区・館山夕起さん 34歳)